



## 兵庫県伝統文化研修館について

兵庫県では平成 28 年 11 月、日本の伝統文化の継承・普及・発展を目指し「兵庫県伝統文化研修館」を開設。伝統文化研修館は、伝統文化を人間形成の軸として、文化的素養の向上、国際化を踏まえた自国文化の理解、伝統文化を通じた地域内外の交流に資する拠点として活用するもので、一般、特に青少年に「和の心・静の心」への気付きを提供し、日本人としてのアイデンティティに繋げるものである。



### ★11月19日講師プロフィール 指揮者 柳澤寿男



旧ユーゴスラヴィアを中心に活動する指揮者。バルカン室内管弦楽団音楽監督、コソボフィルハーモニー響首席指揮者、セルビア・ニーシュ響首席客演指揮者、ベオグラード・シンフォニエッタ名誉首席指揮者。サンクトペテルブルグ響、プラハ響、フラデツクラロヴェ響、西ボヘミア響、サラエボフィル、セルビア放送響、ベオグラード国立歌劇場、ニーシュ響、アルバニア放送響、イスタンブール国立歌劇場など世界各地にて客演、日本国内では新日本フィル、日本フィル、東京フィルをはじめ数々のフィルにて客演指揮を務める。著書「戦場のタクト(実業之日本社)」「バルカンから響け！ 歓喜の歌(晋遊舎)」CD「戦場のタクト(キングレコード)」。

- 2000 東京国際音楽コンクール(指揮)第二位受賞。
- 2005 バルカン室内管弦楽団を設立(日本人がイニシアティブを執る旧ユーゴスラヴィア中南部地域の唯一の文化の貴重な架け橋であり、NHK、日本テレビなど各局で放送されている。BS ジャパン「戦場に音楽の架け橋を〜指揮者柳澤寿男コソボの挑戦 (日本放送文化大賞グランプリ受賞)」。
- 2005-2007 マケドニア旧ユーゴスラヴィア国立歌劇場首席指揮者。
- 2007 UNMIK 国連コソボ暫定行政ミッション下のコソボフィルハーモニー響首席指揮者に就任。
- 2009 コソボでUNDP 国連コソボ開発計画、KFOR 国際安全保障部隊等の協力のもとセルビア人音楽家とコソボアルバニア人音楽家の文化交流を実現。
- 2010 ニューヨーク国連総会イベント「バルカン・リーダーズ・サミット」に招聘。
- 2015 東日本大震災復興支援、坂本龍一氏監督による東北ユースオーケストラ、ビルボードクラシックス Premium Symphonic Concert の指揮者を務める。World Peace Concert を一年に一度世界各地で開催。
- 2016 ジュネーヴ・ヴィクトリアホールでペーター・ヤブロンスキー氏(ピアノ)と協演。
- 2017年9月 ウィーン・コンツェルトハウスにて設立 10 周年コンサート。

### ★12月17日講師プロフィール 三味線奏者 常磐津文字兵衛



常磐津節三味線方。重要無形文化財総合認定保持者。平成 20 年度文化庁文化交流使。四代常磐津文字兵衛(英二)の長男。舞踊曲、TV コマーシャル、器楽曲、声楽曲などを数多く作曲。

- 1977 常磐津紫弘の流名を受ける。
- 1985 東京藝術大学卒業。
- 1992 古典、創作両面の活動に対し、財団法人「清栄会」より第 5 回清栄会奨励賞を受賞。
- 1994 東京藝術大学の常磐津実技担当非常勤講師。
- 1995 京都南座「身替座禅」で歌舞伎立三味線。
- 1996 五代常磐津文字兵衛を襲名。
- 2004 国立劇場特別賞を受賞。

- 2005 早稲田大学演劇博物館客員講師。  
早稲田大学演劇博物館 21 世紀 COE プログラム演劇研究センター研究上演事業舞踊詩劇「女と影」を作曲上演。  
「すみれ」の音楽構成、作曲を担当。
- 2008 ショパンのピアノ曲と、古典邦楽の書法で作曲した作品で構成する新作舞踊劇「すみれ」の音楽構成、作曲を担当。  
同作品を、歌舞伎俳優中村福助氏、ピアノ演奏家フィリップ・ジュジアーノ (Philippe Giusiano) 氏と共に、パリと東京で相次いで初演し話題を呼ぶ。
- 2010 「常磐津節の歌舞伎上演における演奏及び幅広い分野での創作演奏活動」に対し日本芸術院賞を受賞。
- 2014 春の叙勲で紫綬褒章受章。

